

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年1月12日(2012.1.12)

【公開番号】特開2010-119688(P2010-119688A)

【公開日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【年通号数】公開・登録公報2010-022

【出願番号】特願2008-297241(P2008-297241)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月18日(2011.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技機と、前記遊技機に併設されると共に、有価価値情報に基づく球貸、前記遊技機における遊技実行のために使用している遊技球の個数を計数可能であり、この計数した数値を持球数データとして記憶し、遊技者の操作によって前記持球数データを貯球情報として記録媒体に記録する精算を行う球貸精算機とにより構成された遊技装置において、

遊技の実行により払出条件が成立したとき、所定の賞球数の遊技球を遊技者に付与する払出手段と、

遊技者の返却操作により前記遊技球の個数を計数可能であり、この計数した数値を前記持球数データとして加算する持球数加算手段と、

遊技者の操作によって前記持球数データを所定数の遊技球に交換可能とし、この交換した遊技球の個数を前記持球数データから減算する持球数減算手段と、

遊技者によって操作可能な精算指令入力手段の検出に基づき、前記持球数データの全てを前記貯球情報として遊技者が持出可能な前記記録媒体に記録する精算制御手段と、

遊技機外部からの電波ノイズが所定の水準である旨を自ら検知する外部ノイズ検知手段と、

前記外部ノイズ検知手段によって前記電波ノイズが前記所定の水準であると検知したとき、遊技者の操作を介することなく前記精算制御手段を行い、前記持球数データを保護する保護精算制御手段と、を備えることを特徴とする遊技装置。

【請求項2】

遊技盤の前面に形成される遊技領域に向けて遊技球を打ち込むことにより、前記遊技機における遊技が実行されることを特徴とする請求項1記載の遊技装置。

【請求項3】

遊技盤の遊技領域に設けられた複数の入賞口への遊技球の入球に基づいて、前記払出手段が成立することを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の遊技装置。